

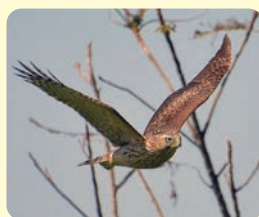
こんな情報が寄せられました

参加者の方からご報告いただいた写真とコメントを一部ご紹介します。



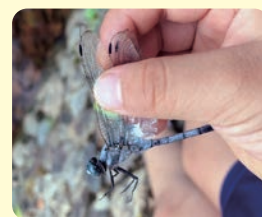
オオタカ：鳥類

- ・カラスに追われて飛んでいった。(40代 荒川土手)
- ・落葉高木樹の枝に止まっていた。(60代 荒川土手)



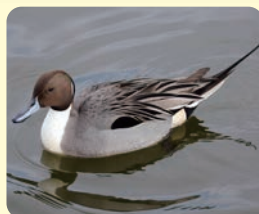
シオカラトンボ：昆虫類

- ・ハラビロカマキリに捕食されていた。(60代 赤塚植物園)
- ・小さな池に、卵を産んでいた。(30代 徳丸)



オナガガモ：鳥類

- ・川に潜って、逆立ちをしているようだった。(40代 石神井川)
- ・多数が池の中で泳いでいた。(70代 浮間公園)



ヒガンバナ：植物

- ・アゲハチョウが吸蜜していた。(60代 城北中央公園)
- ・赤ではなく、白い花が咲いていた。(50代 赤塚公園)



カワウ：鳥類

- ・群れて上空を飛んでいた。この後荒川に着水したようだった。(60代 荒川土手)
- ・ボート乗り場で羽を広げていた。(70代以上 見次公園)



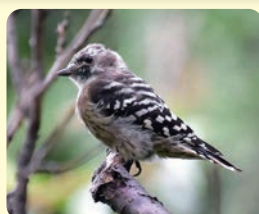
アズマヒキガエル：その他

- ・夜、雨の降る道路にいた。(20代 西台)
- ・雨上がりの夕方、ごみ捨て場で見つけた。(10歳未満 高島平)



コゲラ：鳥類

- ・木をつついて、飛び回っていた。(40代 赤塚公園)
- ・2羽がブラタナスの樹皮を剥いて餌を探していた。(60代 城北中央公園)



ニホンヤモリ：その他

- ・玄関ドアの脇にくっついていた。ドアを開けたら逃げてしまった。(10歳未満 西台)
- ・家の中に出てきて、びっくりした。(30代 高島平)



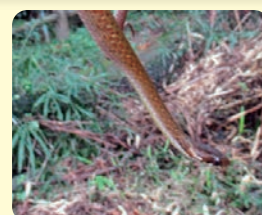
コガタスズメバチ：昆虫類

- ・木の幹にとまっていた。(20代 赤塚公園)
- ・新たに巣作りを始めたところ？(60代 赤塚溜池公園)



ヒバカリ：その他

- ・ミミズが多い場所に1匹で隠れていた。(10代 赤塚溜池公園)
- ・初めて見たのでビックリした。(40代 赤塚城址)



※コメントは一部、読みやすく修正しました。

自然観察会を実施しました

生物生態園 9月27日(日)

22名が参加し、草地や野鳥観察デッキ周辺の水辺で、いきものを観察しました。ベンケイガニやオオカマキリなど、52種のいきものが見つかりました。特定外来生物のアライグマ(足跡のみ)やアレチウリも見つかりました。



浮間公園 11月28日(土)

9名が参加し、浮間ヶ池や緑地などで、いきものを観察しました。ホシハジロやダイサギなど27種のいきもの(鳥類)が見つかりました。浮間公園では、めずらしいスズガモ(メス)も見られました。



2021年度は、「春・夏」の期間に調査を予定しています。詳細は、「広報いたばし」やホームページでお知らせします。

発行：板橋区 環境政策課 自然環境保全係 TEL：03-3579-2593

いたばし 自然・いきものさがし 2020年度 ニュースレター



「自然・いきものさがし」の集計結果について上位10種までのいきものを分類別に紹介します。

調査期間：2020年9月1日～2021年1月31日
参加人数：810人(累計)
報告件数：2,709件(568種)

昆虫類



キタキチョウ(40件)

5位：エンマコオロギ(31件)
8位：ヤマトシジミ(28件)



モンシロチョウ(37件)

6位：ツクツクボウシ(29件)
9位：ツマグロヒョウモン(25件)



ナミアゲハ(32件)

7位：オンブバッタ(28件)
10位：キマダラカメムシ(22件)



オオカマキリ(32件)

鳥類



ヒヨドリ(82件)

5位：ハクセキレイ(36件)
8位：キジバト(30件)



シジュウカラ(75件)

6位：ムクドリ(33件)
9位：キンクロハジロ(21件)



メジロ(46件)

6位：カルガモ(33件)
10位：スズメ(19件)



オナガ(43件)

植物



カタバミ(45件)

5位：ヤブガラシ(38件)
8位：ヨモギ(28件)



ツククサ(43件)

5位：ドクダミ(38件)
9位：オオバコ(25件)



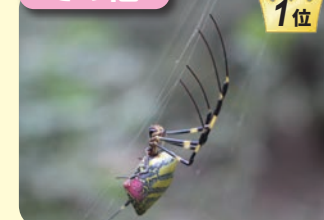
エノコログサ(42件)

5位：タンポポのなかま(38件)
10位：クズ(23件)



ノゲシ(39件)

その他



ジョロウグモ(17件)

4位：アズマヒキガエル(5件)
7位：クロベンケイガニ(3件)



ニホンカナヘビ(8件)

4位：アメリカザリガニ(5件)
7位：アブラコウモリ(3件)



ニホンヤモリ(7件)

7位：ミシシippアカミミガメ(3件)
7位：クサグモ(3件)



ベンケイガニ(5件)

※ニュースレターに掲載されている写真の一部に、参加者の方からご報告いただいた写真を使用しています。



地域別報告数ランキング



板橋区の5つの地域で報告数の多かった5位までのいきものを紹介します。

大きな公園がある地域は、報告数が多い傾向が見られました。



1,088件 **高島平地域** **1位** エンマコオロギ **28件**

2位 ハクセキレイ **21件** **3位** ダイサギ **18件** **3位** ヒヨドリ **18件**

5位 シジュウカラ **17件**

312件 **志村地域**

1位 エノコログサ **14件**

1位 カタバミ **14件**

1位 ツユクサ **14件**

4位 ドクダミ **13件**

4位 ヤブガラシ **13件**



846件 **赤塚地域**

1位 ヒヨドリ **50件**

2位 シジュウカラ **44件** **3位** メジロ **29件**

4位 モンシロチョウ **22件** **5位** オナガ **19件**

267件 **常盤台地域**

1位 シジュウカラ **8件** **2位** ハクセキレイ **6件**

3位 キジバト **5件** **3位** ヒヨドリ **5件**

5位 オナガ **4件** 5位にはオナガのほか、11種（アブラゼミ、ツユクサ、キタキチョウ、アカボシゴマダラ、カルガモ、ノゲシ、ムクドリ、カタバミ、タンポポのなかま、ツメクサ、ドクダミ）が入りました。

177件 **板橋地域**

1位 カタバミ **10件**

2位 ツユクサ **9件**

3位 エノコログサ **8件**

3位 タンポポのなかま **8件**

3位 ヤブガラシ **8件**

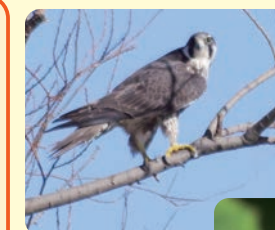
調査結果について



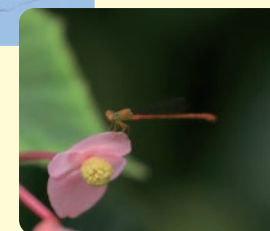
希少種について

「希少種」とは、一般的には、数が少なく、簡単に見ることができないような種類のことを指し、このような種は、環境の変化によって影響を受けやすいとされています。

今回の調査では、東京都レッドデータブックで選定されているカワセミ、ベニイトトンボ、ショウリョウバッタモドキ、ヒバカリ、ニホンヤモリなどが報告されました。また、オオタカ、ハヤブサ、ノスリのような生態系ピラミッドの頂点に位置する希少ないきものの報告もありました。これらのいきものが暮らす赤塚公園などの大きな緑地、浮間公園や荒川河川敷などの水辺は、区内の貴重な自然環境といえます。



ハヤブサ



ベニイトトンボ

外来種について

「外来種」とは、人間の活動に伴って、それまで生息していなかった場所に持ち込まれたいきものを指します。特に、生態系、人の生命・身体、農林水産業に被害を与える（おそれがある）いきものは「特定外来生物」として指定され、飼育や栽培、運搬が禁止されています。

今回の調査では、セイヨウタンポポ、アメリカザリガニ、ミシシippアカミミガメなどのよく目にする外来種が報告されました。また、アライグマ、アカボシゴマダラ、アレチウリ、カダヤシなどの特定外来生物も報告されています。



アライグマ



ミシシippアカミミガメ

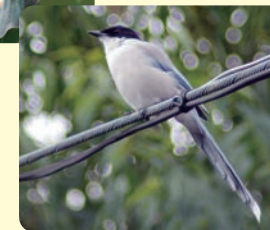
注目種について

「注目種」とは、ある地域の生態系の特性に応じて、生態系の上位に位置する「上位性」、生態系の特徴をよく現す「典型性」、特殊な環境を指標する「特殊性」などの環境指標としての視点から選定されるいきものを指します。

今回の調査では、温暖化に伴い生息域が北上しているクマゼミやツマグロヒョウモン、ナガサキアゲハが注目種として挙げられます。その他、希少種には選定されていないものの、全国的に数が減っている種としてミノムシのなかま、中部地方より北側でしか生息していないオナガなどが注目種として挙げられました。



ナガサキアゲハ



オナガ

ここをさがすとみつけるよ

身近な場所でいきものを見つけるコツは、自分がいきものの気持ちになることです。お腹がすいた時、眠くなった時、怖くなって隠れる時など、その時々で最もいい場所を選んでいきます。

例えば、「樹名板」の裏。公園の樹木や街路

樹に設置されている樹名板の裏側をのぞくと、そこを隠れ家にした、そこで餌を採ったりするヤモリをはじめとする様々ないきものが隠れています。

